

思召れ之べしなまが國に帰る要害の経路はふべ
しとは後と申し一河内國に歸して其後ふくの軍に
お勝ちしむ成謀よりみだま敵なり古語に曰天の
地をわがず地の利を人の利をわがずと見えし天利地
利昔人の利をわがず終に新域叶ひし一敵の意を
乃附けど大浪のおつが如く城より出て出で一時勝敗を
決すべし其もあはれてよき事陰陽奇なり
謀術して兵法の要極なり各名を取ら義を重んじ
一糸と揚由が矢先よりけ物よりまじばをのみわかれは

可申すもあはれ強敵にして味方おるけけあつた時
枕をあらでけ死すべき様へて安住家の美名を著
そべし昔神成金剛山の城よりしきとあ
しりしと陽念幣百万騎をいふけしとあしりしと
あしりしと終に勝利をわくは是城より一に同じくあは
しりしと退くもち將のトきし後よりし海よりし因統
かんけりしとべ敵あはれけけけ破れけけ打
りけ勝とあはれせん一なる時とけけ勝と一敵を
べしと下知しけけけけ將將勇士とあはれけ